

令和6年度小学校教科教育推進研修（国語科）研修成果物（単元について）

		Bグループ
指導者	福山市立戸手小学校	福島 のぞみ
	府中町立府中小学校	高竹 萌々花
	府中町立府中東小学校	仲本 ゆうこ
	海田町立海田東小学校	栗原 法子
	広島県立尾道特別支援学校	吉川 京香

1 教材名 「じどう車くらべ」（光村図書「こくご1 下巻 ともだち」）

2 学年 第1学年

3 単元で扱う教材について

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年告示）国語 第1学年及び第2学年〔思考力、判断力、表現力等〕のC（1）の指導事項「ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。」及び「オ 文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもつこと。」を受けて設定している。

「重要な語や文を考えて選び出す」力を育成するには、「書き手が伝えたいことは何かを考える」「自分が知るべきことについて詳しく知る」といったことを意識しながら、重要だと考えられる語や文を文章の中から見つけることが必要となる。「感想をもつ」力を育成するには、児童の発達や学習の状況に応じて、文章との関連を考えながら、実際の経験を十分想起できるよう工夫することが必要となる。

本単元で扱う「じどう車くらべ」は、「2つの問い+事象1の答え+事象2の答え+事象3の答え」という列挙型の構成の説明的な文章である。2つの問いは、どんな「しごと」をするのか、そのためにどんな「つくり」になっているのか文章の冒頭に示されている。そのため、読み手は自然とこの問いに対する答えを探しながら文章を読み進める。このことから、「問い」に対する「答え」、自動車の「しごと」と「つくり」の関係といった読み手が文章の内容を理解するために重要な語や文を選び出しやすい特徴を有した文章である。また、教材文は、児童にとって身近な自動車を題材としている。人を乗せて目的地まで運ぶ仕事をしている乗用車やバス、土を掘ったり平らにしたりする仕事をしているショベルカーなど、多様な仕事の自動車が挙げられている。そのため、実際に乗った経験のある自動車から子ども達があまり知らない自動車にも触れることができ、興味・関心の幅を広げられやすい。そこから、その他の自動車を調べるという読書活動にもつなげやすい。さらに、本教材文は副詞を用いて自動車の「つくり」が説明されており、児童が動作化したり思いを浮かべたりすることで、教材文の内容を把握しやすい。挿絵も大きく、事例として挙げられている自動車の「つくり」が確認しやすく、本文の「しごと」や「つくり」と結び付けながら読むことで、正確に内容を把握するための一助となる。

こうした教材文の特徴から、児童は自動車に対する既存の知識や経験を想起しながら文章を読むことができるため、文章の内容と自分の体験とを結び付けて理解を深め、文章に対する思いをもつことに適している。

4 単元の目標

○ 共通、相違など情報と情報との関係について理解することができる。

〔知識及び技能〕（2）ア

○ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕C（1）ウ

○ 文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもつことができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕C（1）オ

○ 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

〔学びに向かう力、人間性等〕

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 共通、相違など情報と情報との関係について理解している。 (2) ア	① 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 C (1) ウ ② 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもっている。 C (1) オ	① 粘り強く、文章の内容と自分の体験を結び付けて、自分の考えや感想をじどう車カードにまとめようとしている。

<評価の具体及び手立て>

	評価規準【「おおむね満足できる」状況 (B)】	「努力を要する」状況 (C) と判断した児童への指導の手立て									
知識・技能	<p>① 共通、相違など情報と情報との関係について理解している。 (2) ア</p> <p>ワークシート</p> <p>○ 教材文の事例として取り上げられているバス、トラック、クレーン車から2つを選び「しごと」「つくり」の共通点・相違点をまとめている。</p> <p>発言</p> <p>○ 2つの自動車比べて、共通点・相違点を述べている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>じどう車</th> <th>バス</th> <th>トラック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>しごと</td> <td>人をのせて はこぶ</td> <td>こもつをのせて はこぶ</td> </tr> <tr> <td>つくり</td> <td>・うしろがひろい。 ・うしろがざせきになっている。 ・大きなまどがたくさんある。 ・タイヤが4つ。</td> <td>・うしろがひろい。 ・うしろがにだいになっている。 ・まどがすくない。 ・タイヤが6つ。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※共通点は赤、相違点は青で○をつけたり、言葉を書いたりすることで、視覚的に共通点と相違点が把握できるようにする。</p>	じどう車	バス	トラック	しごと	人をのせて はこぶ	こもつをのせて はこぶ	つくり	・うしろがひろい。 ・うしろがざせきになっている。 ・大きなまどがたくさんある。 ・タイヤが4つ。	・うしろがひろい。 ・うしろがにだいになっている。 ・まどがすくない。 ・タイヤが6つ。	<p>○ 文章の内容理解が難しい児童に対して、挿絵を比べることで、共通点・相違点を考えられるようにする。</p> <p>※ 自動車の作りを後ろの部分・まど・タイヤなどに分けて比べる。</p>
じどう車	バス	トラック									
しごと	人をのせて はこぶ	こもつをのせて はこぶ									
つくり	・うしろがひろい。 ・うしろがざせきになっている。 ・大きなまどがたくさんある。 ・タイヤが4つ。	・うしろがひろい。 ・うしろがにだいになっている。 ・まどがすくない。 ・タイヤが6つ。									

- ① 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。
C (1) ウ
- ② 文章の内容と自分の体験を結び付けて感想をもっている。
C (1) オ

じどう車カード

- ① 教材文で取り上げられている3つの自動車から1つ選び、教科書を見ながらワークシート（じどう車カード）に記入している。（指導に生かす評価に留める。）
- ② 文章の内容と自分の体験を結び付けて解釈し、深まった理解、文章の内容に対する感想を書いている。
- ① 教科書に記載された自動車についてワークシートにまとめた後、自動車の図鑑や本から自分が調べたい自動車を選び、ワークシートにまとめている。

発言

- ② グループや全体の中で、自分の体験を含めて学習して深まったことや感想を伝えている。

ア じどう車	バス
しごと	人をのせてはこぶしごと
つくり	○ざせきのところがひろくつくられている。 ○そとのけしきが見られるように、大きなまどがたくさんある。
イ じぶん	○えんそくにいくときにのったバスに
たいけん	は、たくさんざせきがありました。 ○つうろに、たためるいすがありました。
ウ まえより	ざせきがひろかったり、ざせきがたくさんあったりするのは、たくさんの方がのれるためのつくりだと分かりました。
エ かんそう	たくさんの方がながいじかん、たのしく、かいてきにのることができるように、ざせきがひろくつくられていてすごいとおもいました。つぎにバスにのったときに、ほかにもどことなくふうがされているかしらべてみたいです

重要な語や文（選び出す）・・・赤字部分
文章の内容と自分の体験を結び付けて感想をもっている・・・青字部分

- ① 例文と書く内容の見出しを提示することで、書き出す際の抵抗感を少なくする。
- ① たくさんの文字を書くことが難しい児童は、本文に○印を付けたり、傍線を引いたりするように促す。
- ① 色々な角度から撮られた自動車の拡大写真を用意しておき、文章と結び付けながら確認することで自動車のつくりが分かるようにする。
- ② グループや全体で共有する場を設けることで、自分の経験を引き出せられるようにする。
- ② 個別に「結び付く文章はどこかな？」
「何が分かった？」と声掛けを行う。

<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>① 粘り強く、文章の内容と自分の体験を結び付けて、自分の考えや感想を自動車カードにまとめようとしている。</p>	<p>行動観察、じどう車カード 「じどう車カード」 イ アのしごととつくりと結び付く知識と自分の体験 ウ アとイを結び付けて深めた理解 エ 感想 が関連するように、読み返したり、修正を加えたりしながら粘り強くカードを作成しようとしている姿を評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車に関する図鑑や本を用意する。 ○ 文章と写真が対応できるように、該当する部分の拡大写真を用意しておく。 ○ 動画を見たり、動作化をしたりすることで理解が深められるようにする。 ○ 自分の体験などを伝え合いグループや全体で共有する場を設ける。
----------------------	-------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------